

甲佐町オレンジ通信

令和 6 年 11 月 甲佐町地域包括支援センター

第 6 号(通巻第 96 号)



オレンジ通信、まもなく
通巻第 100 号をむかえます。

9 月、熊本城周辺がオレンジ色に染まる日があります。これは国際アルツハイマーデーを紹介するイベントの一つです。この通信もオレンジで始まるのは、認知症の人やその家族を支える政策やチームの名前にオレンジがついているからです。

11 月は、介護の日があります。現場を支える介護労働を考える日ですが、在宅の介護者も含めて、みんなで介護を考える月間になっています。

日本の介護保険制度は、40 歳以上の国民の皆さんが、介護保険料を支払っています。さらにそのベースになる政策や人材は、国や県、市町村の予算です。つまり、介護の問題は、国民みんなの課題です。

介護保険を使わないで済む様に健康であってほしい。しかし、人はいつか病気になったり障害を抱えたりするものです。そのための備えや学びも必要です。

甲佐町が推進する認知症のサポーター養成講座は、希望があれば、小学校から高校、一般企業、老人会や地区の集まりなど、ともに認知症を学び合います。小学生には年齢層に合わせたサポーター養成講座を企画していますが、特に、認知症の人が道に迷っていたら、どうする？といった問題をチームで考えていきます。都会では親から「知らない人に声をかけないように」と言われており「この話が通じない」と聞いたことがあります。

さて、甲佐町ではどうしますか？

まずは、講座では「子どもだけではなく、近くの人たちにも声をかけて助けを呼びましょう」とお話しします。「周りの大人も協力してくださいますよ」ってね。

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114